

日本大学学長から学生・生徒等及び保護者、卒業生、教職員
の皆様へ (令和3年10月16日)

先月、本学本部に東京地方検察庁の特捜部が家宅捜索に入り、この度、本学理事の一人が背任容疑で逮捕されました。2018年のアメリカンフットボール部の危険タックル問題の対応に関する社会的なご批判もまだ消えない中、一理事が逮捕されたことは、大変残念でなりません。ご心配、ご迷惑をおかけしている学生、生徒等、保護者、卒業生そして教職員の皆様に対し、学長として衷心よりお詫び申し上げます。

日本大学は、「自主創造」という教育理念のもと、自ら学び、自ら考え、自ら道を切りひらいていける人材の育成を目指しています。その理念のもとで学んだ卒業生たちは、社会の各分野において活躍しています。

大学は、教育・研究の府であり、本学では、学生・生徒等が成長するための様々な教育活動、学生・生徒等支援と共に教育の基盤となる時代に即した国際的水準の研究活動を教職員全員で取り組んでいた中で、このような不祥事が発生し、きわめて忸怩たる思いがいたします。

今回の不祥事については、事実関係を究明し、今後このようなことがないように、抜本的な改革をすすめてまいりたいと存じます。それとともに、いままで築き上げてきた本学の教育、研究の伝統そして学生・生徒等支援を、より拡充するかたちで展開してまいります。

本学卒業生の皆様には、先輩方が築かれてきた日本大学の伝統を傷つけることになり、誠に申し訳なく存じます。今後は、このようなことがないように、名誉の回復に全力を尽くしてまいります。

日本大学の教学責任者として、いままで行ってきた教育、研究、学生・生徒等支援をより積極的に展開し、学生、生徒等、保護者、卒業生そして教職員が誇れる学校づくりを進めてまいります。皆様には、今回の不祥事に対し、心よりお詫びを申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

日 本 大 学
学 長 加 藤 直 人